

## 東郷町立春木中学校



< 英語 >



< 理科 >

< 6月27日・7月11日 >

愛知淑徳大学教授である松本青也先生に来ていただき、本校英語科教師2名の授業を参観していただきました。協議会で『英語の授業のあり方』についてご指導をいただきました。学校教育の中の英語教育は、話せるようになればよいだけでなく、“異質なものにふれさせる。言葉の幅を拡げてあげる”ことによって、人格を完成させることが大切であるという助言をいただきました。授業では、なるべく日本語を使わずに、できる限り英語を使って授業をするように助言を受けました。2週間後に再度訪問していただき、前回の反省を生かして2名が行った授業を参観していただきました。ここでも、コミュニケーション能力を身につけさせるためには、日本語との違いを何度も繰り返して教えることが大切であるということをご指導いただきました。

< 7月2日・7月16日 >

愛知教育大学教授の長沼健先生をお招きして、本校理科教師2名の授業を参観していただきました。協議会では、“本時で学習した用語、知識を生徒が使いこなすことができ初めて基礎・基本の定着である。”との助言をいただきました。また、実験によって得られたデータを生かしながら、理論に結びつけていくという過程を大切にされた授業展開の必要性についてのご指導を受けました。2週間後には、長沼先生自ら、生徒の興味をどう引き出すかというテーマで模範授業を行っていただきました。生徒に「なぜ」「どうして」と疑問を抱かせ、生徒の探求心に火をつける工夫によって、理科への興味、そして学習効果の向上につながるのではないかという問題提起をしていただきました。